



<アセアン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2020年10月14日

IMF2020年世界経済見通しを上方修正

IMFが世界経済見通しを改定した。2020年の世界GDP成長率予測は6月の-5.2%から-4.4%と0.8%上方修正された。この修正は、主要先進国における第2四半期のGDP実績値が当初予測されたほどのマイナスではなかったこと、中国の成長回復が予想以上に強力であったこと、第3四半期に景気回復が加速する兆候が見られることに基づいている。

アメリカの-4.3% (-8.0%)、中国の+1.9% (+1.0%) と上方修正された国がある一方、インドは前回の-4.5%から-10.3%と大幅に下方修正された。ベトナムについては+1.6%の予測。

2021年につき、世界全体は+5.2% (+5.4%)、アメリカは+3.1% (+4.5%)、中国は+8.2% (+8.2%)、インドは+8.8% (+6.0%) を予測。

注：カッコは前回予測（6月発表）数字

IMF経済成長予測（2020年10月現在）

国名	2019	2020	2021	国名	2019	2020	2021
世界	2.8%	-4.4%	5.2%	カンボジア	7.0%	-2.8%	6.8%
アメリカ	2.2%	-4.3%	3.1%	ラオス	5.2%	0.2%	4.8%
ユーロ圏	1.3%	-8.3%	5.2%	インドネシア	5.0%	-1.5%	6.1%
日本	0.7%	-5.3%	2.3%	マレーシア	4.3%	-6.0%	7.8%
中国	6.1%	1.9%	8.2%	フィリピン	6.0%	-8.3%	7.4%
インド	4.2%	-10.3%	8.8%	ミャンマー	6.5%	2.0%	5.7%
タイ	2.4%	-7.1%	4.0%	ベトナム	7.0%	1.6%	6.7%

出所：IMF

以上